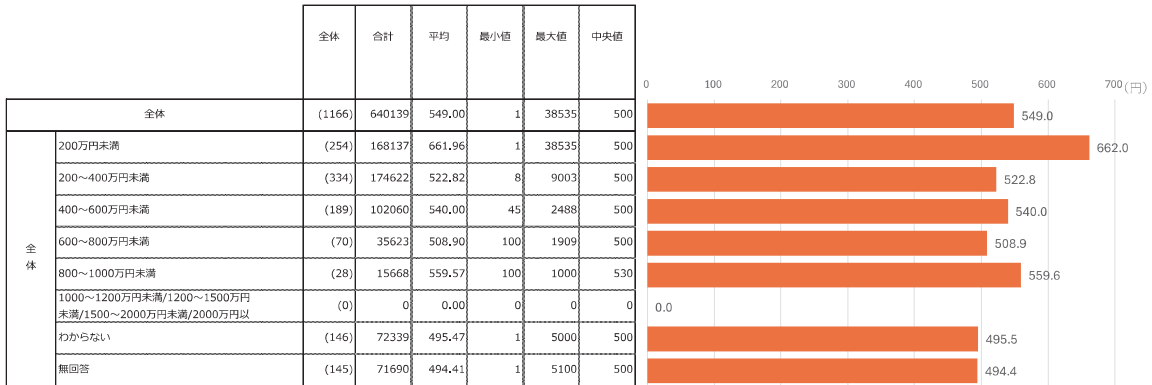


- 魚の刺身について、価格が500円の県外産と比べて県内産の価格がどの程度であれば購入するか、その金額について調査を行った。



	全体	無回答	合計	平均	最小値	最大値	
全体	(1196)	0	656335	548.78	1	38535	
全体	男性	(613)	0	360470	588.04	1	38535
	女性	(583)	0	295865	507.49	1	5100

- 魚類の価格許容度は平均「549円」であり、県外産に49円以内であれば県内産を購入するという結果となった。
- 収入との相関関係は、一定あるものの野菜ほど認められなかった。
- 男女別のクロス分析においては、野菜とは違い男性の価格許容度が、女性の価格許容度と比べ「73円」高かった。
- 魚類については、男性へのアプローチが県内産利用率向上に有効である可能性がある。

(11) 地産地消のアイデアをヒアリング

沖縄県産の食材の購入や消費を推進していくためのご意見やアイデアを回答者に自由記述でコメントを求めた。

本調査では、地産地消を行うための意見やアイデアについてテキストマイニングを活用し、どのような単語やフレーズを消費者が使用していたか分析を行った。

テキストマイニングとは・・・

自然言語処理、統計学、機械学習などの技術を駆使して、書籍、ウェブページ、ソーシャルメディア投稿などのテキストデータから意味を引き出すプロセス。これにより、情報を整理し、潜在的なパターンや傾向を発見することが可能となる。

今回、「出現頻度順」と「スコア順」の2種類のデータを用いて考察した。

出現頻度順

特定の単語やフレーズがテキストデータセット内でどれくらい頻繁に現れるかを分析し可視化した。

スコア順

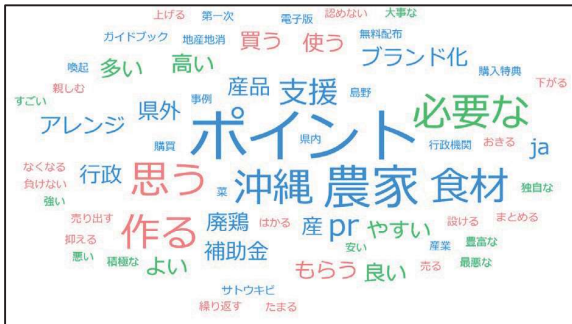
テキスト内の要素に対して、重要度を数値で評価したスコアに基づいて分析し、可視化した。

自由記述のコメントを分類し、コメント数の多い分類について分析した。

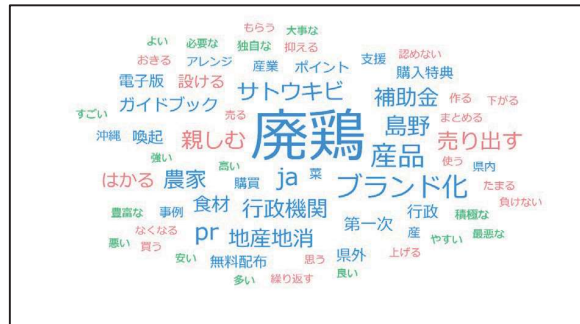
分類	主な内容	コメント数
政策について	補助金やポイント制度、ブランド力強化など	31
価格について	安価を求める意見等	92
PR・販促方法について	店頭のPOPやPR方法について	160
イベントについて	試食会やイベントの企画	30
調理法について	レシピなど調理法の理解促進	117
食品表示について	産地表示や栄養表示等	13
安全性について	安全安心に関するコメントについて	15
品質について	生産方法やおいしさなど	11
生産者について	生産者に対する意見等	12
小売店・飲食店について	小売店舗の施策や飲食店の運営等	53
流通について	安定供給や商品開発等	30
学校給食について	学校給食にかかわるコメント	14
その他	分類できなかったコメント	23
特になし		540
わからない		35
満足	満足しているコメント	20

①政策について

【出現頻度順】



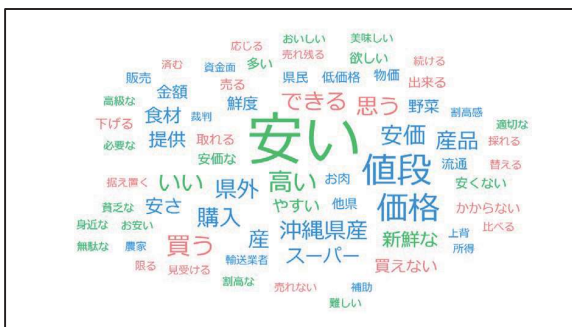
【スコア順】



- 「ポイント」という単語が出現率が高かった。これは、県産品を購入するとインセンティブとしてポイントを付与する仕組みを構築してほしいという意見が多かったため。
- スコア順においては、「廃鶏」が大きくあがっている。北部地域で生産性が低下した鶏を「廃鶏」として提供されていることが県産品のブランドイメージを毀損しているとの意見から抽出された。
- 政策として、ポイント制度や補助金、またブランドを後押しする施策を希望する声が多かった。

②価格について

【出現頻度順】



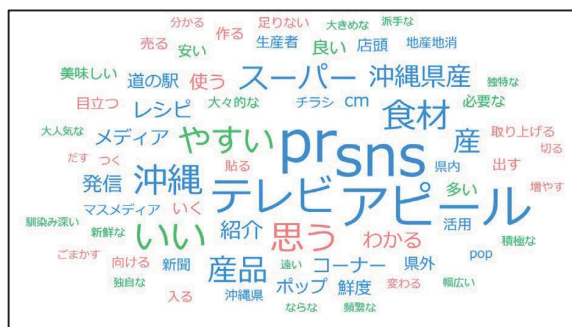
【スコア順】



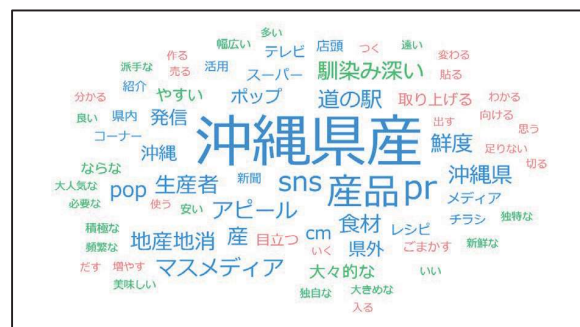
- 出現頻度で大きく表れている通り、「低価格」であれば購入するといった意見が大勢を占めた。
- スコア順においては、「沖縄県産」が「割高感」があるという課題を重要ととらえて分析がされた。
- 沖縄県産を購入したいが、高く購入できないといった意見が多く見られた。また、価格の面で県外産品とを比較する意見も多く見られ、県産品は高いというイメージをもつ回答者が多くいた。

③PR・販促方法について

【出現頻度順】



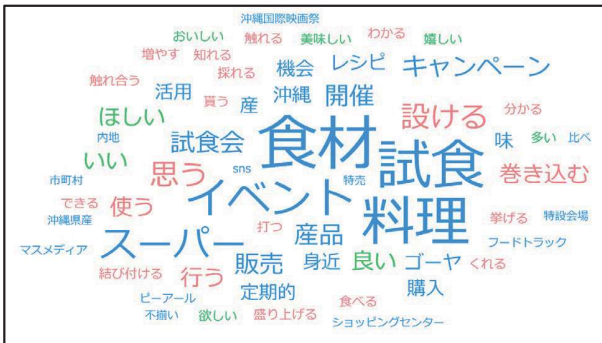
【スコア順】



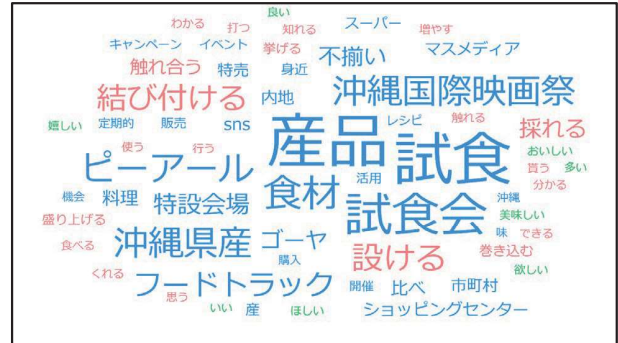
- アピールを行うことについてアイデアとして記入する回答者が多く、出現頻度の形容詞（=緑色）もそれに合わせたものが多く出現している。
- PRのために、「テレビ」や「SNS」を活用していくことを提言する回答者が多かった。
- スコア順で見ても、「沖縄県産」を強く押し出すことが重要であると分析している。
- PRについては、マイナスな意見は少なくもっとアピールをしていくべきと前向きな意見が多く見られた。

④イベントについて

【出現頻度順】



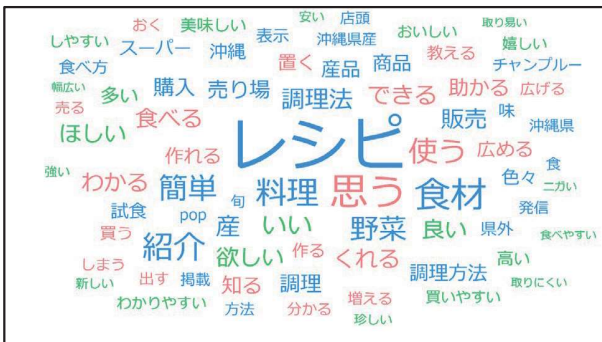
【スコア順】



- イベントについては、③PR・販促方法についてと重複するものもあるが、「食材」「試食」「料理」の出現頻度が高く、実際に食べて県産品の良さをアピールするべきとの意見が反映されている。また、その提供の場は「スーパー」が多く出現していると分析している。
- スコア順では、「沖縄国際映画祭」や「フードトラック」など別のイベントを提案するキーワードを分析していた。

⑤調理法について

【出現頻度順】



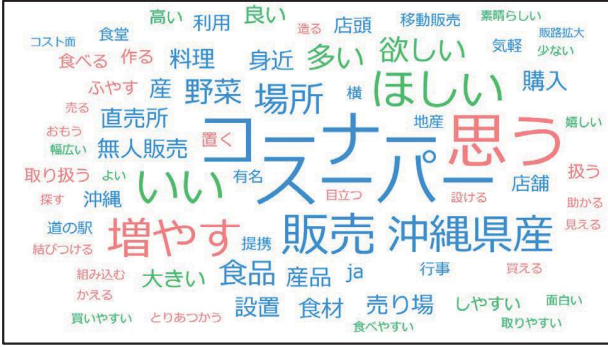
【スコア順】



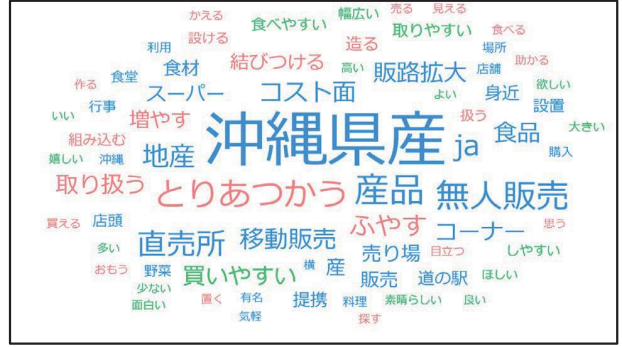
- 「レシピ」の出現頻度が高く、「簡単」に「料理」出来る「調理法」を「紹介」してほしいといった意見が見られた。その場所については、「スーパー」の「売り場」が多かった。
- スコア順でも「レシピ」の意見が多かった。特に、形容詞で「取り易い」「買いやすい」と抽出されており、スーパーなどで食材と一緒にレシピを置いてほしいという意見が確かに多く見られた。

⑥小売店・飲食店について

【出現頻度順】



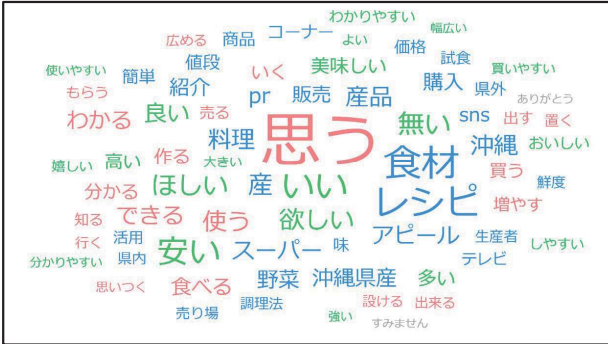
【スコア順】



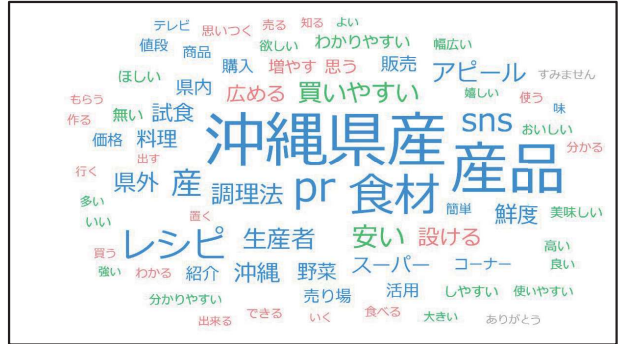
- 特に「スーパー」「コーナ」のワードの出現頻度が高く、形容詞も「ほしい」の出現頻度が高いことから、スーパーのコーナで沖縄県産食材を購入できる場所を設置してほしいという意見が多く見られた。
- スコア順では、「直売所」や「無人販売」が抽出されており、直売所や無人販売所が増えることをアイデアとして提言する回答者が見られた。
- 全体的には、販売機会を増やす提言として「売り場」「店舗」の増加に関する意見が多く見られた。

⑦コメント全般について

【出現頻度順】



【スコア順】



品詞	単語	出現回数	品詞	単語	出現回数	品詞	単語	出現回数
名詞	食材	91	動詞	思う	131	形容詞	いい	62
名詞	レシピ	84	動詞	使う	39	形容詞	安い	59
名詞	産	50	動詞	できる	34	形容詞	無い	44
名詞	料理	47	動詞	わかる	32	形容詞	ほしい	42
名詞	産品	46	動詞	食べる	28	形容詞	欲しい	41

- コメント全般では、「食材」の出現頻度が1番高かった。次に、「レシピ」をコメントする回答者が多く、消費者目線で地産地消推進に有効なアイデアとしては、「レシピ」により県産「食材」を活用することであった。

沖縄県地産地消推進県民会議設置要綱

沖縄県地産地消推進県民会議設置要綱

(名称)

第1条 この会議は、沖縄県地産地消推進県民会議（以下「県民会議」という。）という。

(目的)

第2条 県民会議は、消費者、生産者、流通・加工業者及び行政等の一体的な取組により、県内で生産される農林水産物を県内で消費する地産地消推進運動（以下「推進運動」という。）を推進するために必要な事業を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 県民会議は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 推進運動の総合企画に関すること
- (2) 推進運動の普及啓発に関すること
- (3) 学校給食における県産農林水産物の利用及び食農教育の推進に関すること
- (4) 観光関連施設等における県産農林水産物の利用促進に関すること
- (5) 県産農林水産物の食品産業等での利用促進及び量販店等での販売促進に関すること
- (6) 地産地消推進組織への支援に関すること
- (7) 前各号に掲げるもののほか、県民会議の目的達成に必要な事業

(組織)

第4条 県民会議は、別表第1に掲げる機関及び団体（以下「構成団体」という。）をもって構成し、委員は構成団体の役職員をもって充てる。

2 県民会議の円滑な運営・管理のため、県民会議の下に幹事会を置く。

(役員)

第5条 県民会議に役員として会長、副会長及び常任委員を置く。

2 役員は、別表第2に掲げる者をもって充てる。

(役員の仕事)

第6条 会長は、県民会議を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、会長があらかじめ定める順位により、その職務を代理する。

3 常任委員は、会長及び副会長を補佐し、会長の命を受け県民会議の会務を掌理するとともに、会長、副会長ともに事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 会議は、会長が招集し、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 事業計画に関する事
- (2) 事業の実施状況に関する事
- (3) その他重要な事項に関する事

2 会議においては会長が議長となる。

(事務局)

第8条 県民会議の事務局は、沖縄県農林水産部流通・加工推進課に置く。

(補足)

第9条 その他推進運動の実施に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成16年 2月 8日から施行する。

この要綱は、平成18年 2月20日から施行する。

この要綱は、平成24年 2月16日から施行する。

この要綱は、平成26年 4月 1日から施行する。

この要綱は、平成30年11月19日から施行する。

この要綱は、令和5年11月 9日から施行する。

別表第1 (第4条関係)

構成分類	構成団体名
消費者	一般社団法人沖縄県女性連合会 沖縄県生活協同組合連合会 公益社団法人沖縄県栄養士会 沖縄県学校栄養士会 沖縄県食生活改善推進員連絡協議会
生産者	沖縄県農業協同組合中央会 沖縄県農業協同組合 沖縄県花卉園芸農業協同組合 沖縄県漁業協同組合連合会 沖縄県森林組合連合会 沖縄県酪農農業協同組合
流通・加工	沖縄県食品産業協議会 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 沖縄県飲食業生活衛生同業組合 一般社団法人沖縄県調理師会 公益財団法人沖縄県学校給食会 イオン琉球株式会社 株式会社サンエー
行政	沖縄県 沖縄県教育庁

別表第2 (第5条関係)

役員	所属	役職
会長	沖縄県	知事
副会長	一般社団法人沖縄県女性連合会	会長
副会長	沖縄県農業協同組合	代表理事理事長
副会長	沖縄県食品産業協議会	会長
常任委員	沖縄県	農林水産部長
//	沖縄県	保健医療部長
//	沖縄県	文化観光スポーツ部長
//	沖縄県教育委員会	教育長

沖縄県地産地消推進県民会議幹事会設置要領

沖縄県地産地消推進県民会議幹事会設置要領

(目的)

第1条 沖縄県地産地消推進県民会議（以下「県民会議」という。）の円滑な運営・管理に資するため沖縄県地産地消推進県民会議幹事会（以下「幹事会」という）を設置する。

(検討事項)

第2条 幹事会は、次の事項及びこれらに関連する事項について検討する。

- (1) 県民会議の運営・管理に関すること
- (2) 地産地消推進運動に関すること

(構成)

第3条 幹事会は、会長1名、副会長3名及び会員で構成する。

- 2 会員の構成は、別表第1のとおりとする。
- 3 会長及び副会長は別表第2に掲げる者をもって充てる。

(会議)

第4条 幹事会は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 副会長は、会長の指示により、その職務を代行する。

(事務局)

第5条 幹事会の事務局は、沖縄県農林水産部流通・加工推進課に置く。

(その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、運営に関して必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この設置要領は、平成16年 2月 8日から施行する。

この設置要領は、平成18年 2月20日から施行する。

この設置要領は、平成24年 1月10日から施行する。

この設置要領は、平成26年 4月 1日から施行する。

この設置要領は、平成30年 7月 2日から施行する。

この設置要領は、平成30年11月19日から施行する。

この設置要領は、令和5年11月 9日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

構成分類	所 属	役 職
消費者	一般社団法人沖縄県女性連合会 沖縄県生活協同組合連合会 公益社団法人沖縄県栄養士会 沖縄県学校栄養士会 沖縄県食生活改善推進員連絡協議会	副会長 専務理事 副会長 副会長 副会長
生産者	沖縄県農業協同組合中央会 農政営農部 沖縄県農業協同組合 沖縄県花卉園芸農業協同組合 沖縄県漁業協同組合連合会 沖縄県森林組合連合会 沖縄県酪農農業協同組合	部長 部長 参事 専務理事 専務理事 参事
流通・加工	沖縄県食品産業協議会 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 沖縄県飲食業生活衛生同業組合 一般社団法人沖縄県調理師会 公益財団法人沖縄県学校給食会 イオン琉球株式会社 株式会社サンエー	事務局長 専務理事 理事 副会長理事 事務局長 部長 専務取締役
行政	保健医療部 健康長寿課 教育庁 保健体育課 文化観光スポーツ部 観光振興課 文化振興課 農林水産部 流通・加工推進課 園芸振興課 糖業農産課 畜産課 営農支援課 森林管理課 水産課	課長 課長 課長 課長 課長 課長 課長 課長 課長 課長 課長

別表第2 (第3条関係)

役 員	所 属	役 職
会長	沖縄県農林水産部流通・加工推進課	課長
副会長	沖縄県農業協同組合	部長
副会長	沖縄県食品産業協議会	事務局長
副会長	一般社団法人沖縄県女性連合会	副会長



第5次沖縄県地産地消推進計画
(令和6年3月)



沖縄県地産地消推進県民会議

問い合わせ先

沖縄県農林水産部 流通・加工推進課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
電話 098-866-2255 FAX 098-862-7519